

どに意識を向ける様子がありませんでした。そのため、やさしい音やタッチングがよいと考え、日常活動を提供しています。歌いながら手に触れると一瞬目が見開くように、力が入ります。続けていくと徐々に目を細め穏やかな表情になります。少ししてからもう一度行うと、今度は手に触れても力が入りません。職員が歌っている間、よく目が動いたり、逆に目の動きが止まったりします。この時は、ジッと聞いている様子が感じられました。語りかけやタッチングの繰り返しで、心地良い刺激が感じられるのではないかと思います。



情が見られます。手遊びでのタッチングをする中でもっと聞きたい、感じたいと思えるような活動をしています。「ひげじいさん」のうたを歌い、手に触れると、はじめは舌を動かします。歌に合わせて顔に触れると、動きが止まり表情が和らぎます。繰り返し手に触れると、また舌の小さな動きがあります。もう一度声をかけ手に触れると一瞬力が入り笑顔になります。「とんとんとん」と歌い、手に触れると、力が入り目を細め、「ひげじいさん」で顔に触れると、力が抜けて笑顔になります。次に行われることへの期待があるような表情に見えました。繰り返し行うことで、Bさんの心の動きが感じられます。

## 新入職員紹介



その2

すばる 久保田 夏海

学生、実習生という立場から、職員という行動に責任を持つ立場となり、様々なことに四苦八苦しながら取り組んでいます。

就職してから暫く経ち、様々なことに少しずつ慣れてきました。が、いまだに自分がとるべき行動がとれていないと言えず、不安と戦う毎日であります。しかし尊敬できる先輩職員ばかりのこの職場で何があっても諦めず、向上心を持ちながら日々頑張っています。

すばる 齋藤 元紀

学生から介護職員となり、まずは最低限の業務と責任を果たすことができるように、勉強の日々を送っています。まだまだ、利用者のことから業務のことまで、把握しき

れていないことが多いと思いますが、『一步一步丁寧確実に』をテーマに歩んでいくしかないと思っています。

思いこみが激しかったり、不器用であったりしますが、よろしく願います。一生懸命頑張ります。

はるか 鈴木 智子

働き始め、利用者の方一人ひとりにあった支援があり、それが大切であると知りました。どうしたらより良い支援ができるのか、どうしたら利用者の方により良い生活を送ってもらえることができるのかを考え、利用者の方が伝えるかすかな反応にも気付ける生活支援員になっていきたいと思っています。また、利用者の方に

笑顔を届けられるよう、まずは自分自身が笑顔でいることを忘れず利用者の方に接していきたいです。よろしく願います。

はるか 森 祐樹

自分の中で仕事に関して分からないことが多く、何を聞くべきか分からない状態です。不安な気持ちが大きいですが、今は先輩職員が教えてくれることを、一つひとつしっかり

と覚えるように頑張っています。少し時間がかかるかもしれませんが、見守って下さい。よろしく願います。

うらら 増田 直美

入職直後、先輩職員から「わからないことだけでなく、利用者さんとの関わりで嬉しかったことも教えてください。共感したいです。」と言われ、『喜びを分かち合えるような温かい職場』だと感じました。それまで、仕事を早く覚えることに焦りを感じていました。しかし、その言葉で今後、業務とコミュニケーションを分けて考えるのではなく、業務の中でいかに利用者さんに関われるか考えて行動していきたいと強く思いました。

あおば 中山 咲希

私は、今まで実習の中で、児童施設へ伺ったことがなかったため、どう接すればよいのか不安がありました。でも、先輩職員の方々が丁寧に指導してくださったので、徐々に慣れてきました。また、バーバル(言語的)だけでなくノンバーバル(非言語的)コミュニケーションを通して改めて一人ひとりの観察が大切であ